

# デザイナー講師



# 養成講座



# LEDライトキューブ



## 材料

■キウラートレジン ■着色剤 ■ラメ ■LEDガーランド

## 道具

□電子スケール □混ぜ棒 □串 □LED用シリコンモールド  
□ガムテープ □容器 □ビニール手袋 □カップ  
□カバー箱 □水

## ★作り方★

### ①ガムテープでモールドの埃を取りながらキズがないかを確認する

埃・キズが残るとそのまま固まってしまうり痕になってしまう為、要確認する。  
また、曇ったモールドを使用すると、完成後も曇ってしまうので劣化したモールドは新品に交換

### ②LEDの電源を入れて光るか確認する

レジンが硬化した後は交換が出来なくなる為、事前に確認する。

### ③配線をほぐしてまとめてモールドに入れる

ギュッとぎつくとまとめると断線する恐れがある。モールドから配線のむき出した部分が飛び出ないようにモールドの3/4くらいの高さまで抑える。レジンのフチに配線がビニールで覆われている部分があるようにする

### ④レジンを混ぜる

主剤3:硬化剤1の割合でキウラートレジン<sup>®</sup>を混ぜる。レジン使用量300gの場合(主剤225g:硬化剤75g) 気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる

### ⑤着色剤・ラメを混ぜる

混ぜた後にカップのまま少し時間をおいて気泡を抜く。

### ⑥モールドにレジンを注ぎ入れてバリ対策をする

モールドの1/4くらいまでレジンを入れたら竹串でモールドの角と辺をなぞって気泡を取り除く。

### ⑦残りのレジンを注ぐ

LEDガーランドの配線がはみ出している部分があればヘラなどで抑えてレジンに埋め込む。

### ⑧水を注ぐ

完成後にひけが残るのを防ぐ為、周りを水で冷やす。  
※水とレジンが触れないように細心の注意を払う。

### ⑨約3日間、硬化を待つ

硬化中に埃がつかないように蓋や段ボールでカバーをする。

### ⑩硬化後にモールドから外す。

約3日後、完全硬化後にモールドから外す。モールドから抜く時は四辺にヘラのような物を差し込みモールドの底から押し出すように抜く。上面の四辺にバリがでやすいので手を切らない様に注意。バリができていた部分はヤスリで削る。  
※面を削るとキズが付き、曇ったようになってしまいますので注意

## ★注意!★

ヒケ防止のため気温25度以下の  
涼しい場所に置くようにして下さい。

# クリスタルアルファベット



## 材料

- 波専用レジン ■着色剤
- 封入物(貝殻、サンゴ、メタルパーツ、花など)

## 道具

- 電子スケール ガムテープ ピンセット 竹串 モールド
- ビニール手袋 紙コップ 混ぜ棒 カバー箱
- はさみ(お花を使う場合)

## ★作り方★

### ①封入物、色、作る文字を選ぶ

貝殻やサンゴを使用する場合→正文字モールドを使用  
お花を使用する場合→裏文字モールドがおすすめ  
※表面がボコボコになる可能性がある為

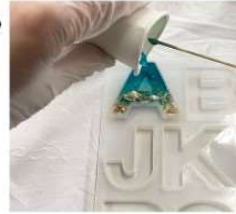


### ⑦封入物を入れる

モールドの8分目くらいまでレジンを入れたら  
封入物を入れる  
気泡がある場合は竹串で取り除く。  
※巻き貝は中に気泡があって浮きやすい為、一度  
レジンにくぐらせる。

### ②ガムテープでモールドの埃を取りながら キズがないかを確認する

埃・キズが残るとそのまま固まってしまう痕  
になってしまう為、要確認する。  
また、曇ったモールドを使用すると、完成後も曇  
ってしまうので劣化したモールドは新品に交換



### ⑧モールドいっぱいまでレジンを入れる

選んだ文字によってレジン量が違うので余る時もある

### ③封入物の配置を決める

一度モールドに封入物を配置して決めたら取り出す  
細かいサンゴ(砂)を使用する場合はこの時点では入れ  
ない。



### ⑨硬化したらモールドから外す

硬化中はホコリがつかないようにダンボールなどで  
カバーをする  
約2日後、完全硬化したらモールドから外す。

### ④レジンを混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジン进行を混ぜる。  
レジン使用量36gの場合(主剤24g:硬化剤12g)

※約3文字分

気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくな  
るまでしっかりと混ぜる。



### ⑩完成後にバリがあった場合は取り除く

バリ取り→バリのできた部分のみヤスリがける。  
※表面はキズが付き白くなってしまうので注意。

### ⑤レジンに着色剤を混ぜる

細かい砂を使用する場合は紙コップに取り分け  
少量のレジン进行を混ぜる。

色付け用レジン14gを取り分け、着色する。



### ⑪キーホルダー加工

ピンバイス(精密ドリル)で穴をあけ  
ヒートンに接着剤をつけ、キーホルダー金具を付ける。



### ⑥モールドにレジンを流し込む

砂混ぜたレジン→色付きレジン→透明レジン  
の順に入れる



# キウラート



## 材料

■キウラートレジン ■封入物(花材・穀物など)

## 道具

- 電子スケール キウラートモールド はさみ
- ピンセット ガムテープ
- アクリル板にクリアファイルを付けた物 紙コップ
- 混ぜ棒 竹串

## ★作り方★

### ①ガムテープでモールドの埃を取りながらキズがないかを確認する

埃・キズが残るとそのまま固まってしまうり痕になってしまう為、要確認する。  
また、曇ったモールドを使用すると、完成後も曇ってしまうので劣化したモールドは新品に交換

### ②封入したい物を決める

はさみでモールドに入る大きさにカットし、実際に配置する。  
空気を多く含んだフワフワしたような素材は気泡が入りやすいので避ける。  
封入物が多少上に出てしまっても蓋をするので大丈夫。  
無理に押し込むと表面がボコボコの仕上がりになる為注意。

### ③レジン进行混ぜる

主剤3:硬化剤1の割合でキウラートレジン进行混ぜる。  
1日仕上げ⇒レジン使用量140gの場合(主剤105g:硬化剤35g)  
2日仕上げ⇒レジン使用量100gの場合(主剤75g:硬化剤25g)  
⇒硬化後40gを足す。  
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる

### ④レジン进行モールドに入れる

一度封入物を取り、レジンがモールドのフチと表面に浸かるまでレジン进行注ぐ。  
レジン进行注いだらモールドのフチ进行指で押し、気泡进行抜く。

### ⑤花材进行入れ、残りのレジン进行入れる

2日かけて作る場合は花材の上をしっかりレジンがかかるまでレジン进行注ぐ  
モールド8分目を目安に、入れる量を調整する。  
※花材の量によってレジンが余るケースもある。

### ⑥モールドのフチの気泡进行取る

モールドのフチまでレジン进行入れたら、竹串などでなぞり気泡进行取り除く。

### ⑦アクリル板进行フタをする

レジンとの接着面はクリアファイルのツルツルの面になるようにアクリル板进行モールドのフチからゆっくりと、空気を抜きながら降ろす。  
空気が入っていない箇所进行指で押さえ、外側に空気を逃がすようにする。大きな空気が入ってしまうとバリになるので注意。

※2日かけて作る場合は1日目のレジンが硬化したらレジン进行足す  
1日目のレジンがしっかり固まったらフタを外し、キウラートレジン40g(主剤30g:硬化剤10g)进行モールドいっぱいまで足し空気を抜く様にフタをする。  
※花材がレジン进行吸うことも懸念される為、応じてレジンの量も調整する。

### ⑧硬化後アクリル板进行取り、モールドから外す

約3日後、完全硬化後にモールドから外す。  
バリができていた部分はヤスリで削る。  
※面を削るとキズが付き、曇ったようになってしまうので注意

# 宇宙COSMOプレート



## 材料

■波専用レジン ■シュプリームホワイト ■板 ■着色剤

■ラメ

## 道具

□電子スケール □ヒートガン □非接触型温度計

□ガストーチ □はさみ

□ピンセット □ビニール手袋 □紙コップ □混ぜ棒

□マスキングテープ □カバー箱

## ★作り方★

### ①板の裏にマスキングテープを貼る

流したレジンが裏面に付かない様にする為、マスキングテープを貼る。



### ②着色剤4色を決める

着色剤同士の反応によって柄を出す為、出来るだけ違う種類の着色剤を選ぶ。



### ③レジン进行混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジン进行混ぜる。レジン使用量135gの場合(主剤90g:硬化剤45g)気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。



### ④レジン进行粘度をつける

レジン进行硬化熱でレジン温度が40度くらいになるまで放置する。

硬化が遅い時(気温が低い)はヒートガンでレジン进行温める。その場合、使用したい温度より3度くらい低い温度で次の工程へ。



### ⑤レジン进行4つに分けて着色剤进行混ぜる

紙コップにレジン进行4等分に分け、着色する。青系の着色剤は硬化が早いので、青から遠い色から着色する。



### ⑥新しい紙コップに4色のレジン进行入れる

入れる順番は好きな順番に入れる。紙コップの中では混ぜない様にする。



### ⑦紙コップの上に板进行被せヒックリ返す

紙コップと板进行離さない様に注意する。  
※レジンが漏れてしまう為



### ⑧紙コップ进行取り、傾けながら全体に広げる

紙コップの表面についているレジンも取りたいので15秒程度そのままにする。その後紙コップ进行取り外す

傾けるときは服の袖等に付着しないよう注意。レジンが硬く動きにくい場合はヒートガンを当てる。



### ⑨ガストーチで気泡进行取り、ラメ进行振る

1点に集中して当てるとその部分だけ焦げてしまう可能性があるので注意。全体に流すように当てる。



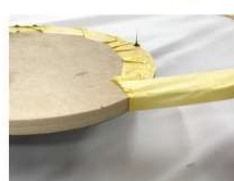
### ⑩約2日間硬化进行待つ

硬化中にホコリがつかないように箱などでカバーをする。



### ⑪完全硬化後にマスキングテープ进行剥がす

ドライヤー等で温めながら剥がす。レジン进行つらら(垂れ)が取れない時にはカッターなどで切れ込みを入れてから剥がす。



# 海SEAプレート

～1技法～



## 材料

■波専用レジン ■シュプリームホワイト ■cell add  
■板 ■着色剤

## 道具

□電子スケール □ヒートガン □非接触型温度計  
□ガストーチ □はさみ □スポイト □ビニール手袋  
□紙コップ □混ぜ棒 □カバー箱 □マスキングテープ

## ★作り方★

①板の裏にマスキングテープを貼る  
流したレジンが裏面に付かない様にする為、  
マスキングテープを貼る。

②レジン进行混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジン进行混ぜる。  
レジン使用量90gの場合(主剤60g:硬化剤30g)  
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくな  
るまでしっかりと混ぜる。

③レジン进行粘度をつける

レジン进行硬化熱でレジン温度が40～45度くらいに  
なるまで放置する。

硬化が遅い時(気温が低い)はヒートガンで  
レジン进行温める。その場合、使用したい温度  
より3度くらい低い温度で次の工程へ。

④レジン进行3つに分ける

紙コップに白波用レジン进行10g取り分ける。  
残った80gのレジン进行2等分(海色用)にする。

⑤レジン进行着色剤进行混ぜる

青系进行着色剤はレジン进行硬化を早める性質がある  
ので青より遠い色から着色する。  
例) 白→緑→青

⑥板进行海色レジン进行流し込む

海側进行レジン进行板进行流し、ヘラや指でレジン进行広げる。  
手前进行色进行流すときは、波の形も同時に作る。

⑦粘土进行確認し、白レジン进行celladd进行混ぜる

白レジン进行流す直前にcelladd进行スポイトで入れて  
混ぜる。  
※10gに対して6滴

⑧白レジン进行波打ち際进行フチ进行流す

海色レジンと木製パネルの両方に被るようにして  
一本線进行描く様に白レジン进行流す。  
木製パネルと海色レジン之间に隙間が出来ない様  
にする。  
隙間がある場合はヘラなどで埋める。

⑨ヒートガン进行波进行広げる

白レジン进行海色レジン之上に、薄く膜进行張るように  
風进行当てる。  
1カ所だけに風が当たり続けられない様にヒートガン进行  
左右进行振りながら風进行当てる。

⑩ガストーチもしくはバーナー进行気泡进行飛ばす

1点に集中して当てるとその部分だけ焦げてしまう  
可能性があるので注意。  
全体进行流すように当てる。

⑪約2日間硬化进行待つ

硬化中進行ホコリがつかないように箱などでカバー  
进行する。

⑫完全硬化後にマスキングテープ进行剥がす

ドライヤー等で温めながら剥がす。  
レジン进行つらら(垂れ)が取れない時にはカッター  
などで切れ込みを入れてから剥がす。

# 海SEAプレート

～2技法～



## 材料

■波専用レジン ■シュプリームホワイト ■cell add ■板  
■着色剤 ■アクリル絵の具

## 道具

□電子スケール □ヒートガン □非接触型温度計 □ガストーチ  
□はさみ □筆 □バケツ □スポイト □ビニール手袋  
□紙コップ □混ぜ棒 □カバー箱 □マスキングテープ

## ★作り方★

①板の裏にマスキングテープを貼る  
流したレジンが裏面に付かない様にする為、  
マスキングテープを貼る。

②板にアクリル絵の具で色を塗り乾かす  
水の量は筆に染みこませるくらいで塗り、板の側面も塗る  
絵の具が乾ききる前にグラデーションをかけるのがポイント

③レジン进行混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジン进行混ぜる。  
レジン使用量90gの場合(主剤60g:硬化剤30g)  
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくな  
るまでしっかりと混ぜる。

④レジン进行粘度をつける

レジン进行硬化熱でレジン温度が40～45度くらいに  
なるまで放置する。

硬化が遅い時(気温が低い)はヒートガンで  
レジン进行温める。その場合、使用したい温度  
より3度くらい低い温度で次の工程へ。

⑤白波用レジン进行取り分けて着色し、  
残りのレジンにコピックインク进行混ぜる。  
紙コップに10g(波用)进行取り分け、シュプリームホ  
ワイト(大豆1個分くらい)进行混ぜる。  
残りの透明レジンにコピックインク进行少量(ほんの  
り色が付くくらい)进行混ぜる。

⑥板に海側レジン进行流し込む

海側のレジン进行板に流し、ヘラや指でレジン进行  
広げる。波打ち際进行形も決める。

※レジン进行凝りすぎると波打ち際进行手前进行流れてきてしまうので粘度に注意

⑦粘土を確認し、白レジンにcelladd进行混ぜる  
白レジン进行流す直前にcelladd进行スポイトで入れて  
混ぜる。  
※10gに対して6滴

⑧白レジン进行波打ち際进行のフチに流す  
海側レジンと木製パネルの両方に被るようにして  
一本線进行描く様に白レジン进行流す。  
海側レジンと木製パネルの間に隙間が出来ない様  
にする。隙間がある場合はヘラなどで埋める。

⑨ヒートガンで波进行広げる

白レジン进行海色レジンの上に、薄く膜进行張るように  
風进行当てる。  
1カ所だけに風が当たり続けられない様にヒートガン进行  
左右に振りながら風进行当てる。

⑩ガストーチもしくはバーナーで気泡进行飛ばす  
1点に集中して当てるとその部分だけ焦げてしまう  
可能性がある所以注意。  
全体に流すように当てる。

⑪約2日間硬化进行待つ

硬化中にホコリがつかないように箱などでカバー  
进行する。

⑫完全硬化後にマスキングテープ进行剥がす  
ドライヤー等で温めながら剥がす。  
レジン进行つらら(垂れ)が取れない時にはカッター  
などで切れ込み进行入れてから剥がす。

# ハンドメイド素材の店

～ハンドメイドで使用する材料を豊富に揃えています～



オリジナル  
アートボード



オリジナルレジン



オリジナル時計盤

エポキシアート協会の情報は  
各SNSからご確認頂けます⇒



LINE



Instagram

オリジナル材料  
その他材料の購入はこちら⇒



Mstore